

カオス三景

六本松 箱崎 伊都

▷6◁

「中央区にまとまった土地はここだけ。市草ヶ江校区まちづくり民に有益で地元も活性化する跡地利用、大議員、森友俊隆さん(80)の街にふさわしい施設はこう切り出した。地

「中央区にまとまった土地はここだけ。市草ヶ江校区まちづくり民に有益で地元も活性化する跡地利用、大議員、森友俊隆さん(80)の街にふさわしい施設はこう切り出した。地
 代表として参加した市草ヶ江校区まちづくり民に有益で地元も活性化する跡地利用、大議員、森友俊隆さん(80)の街にふさわしい施設はこう切り出した。地
 魅力もある半面、地元大生というお好み焼では人口増による校区改変も懸念されている。今後は、①南北の面積比②商業施設あり方などが焦点。その商業施設にしても具体策となると「商店街と競合しない専門店の集積」「大型のコンビニ」と地元の意見は割れる。まち協のある役割を機に進出し

街の未来託す跡地利用

を希望します」

元にとっては「商業施設の誘致」が悲願とい

元にとっては「商業施設の誘致」が悲願とい
 岡高裁(福岡市中央区城内)について「13年3月」を期限に移転するよう求めたためだ
 員は「地元としての意向が固まらないと今後、計画に反映できない」と心配する。

12月17日開かれた「まちづくりコンセプト委員会」の初会合。土地を買受ける都市再生機構(U.R)側が

12月17日開かれた「まちづくりコンセプト委員会」の初会合。土地を買受ける都市再生機構(U.R)側が

12月17日開かれた「まちづくりコンセプト委員会」の初会合。土地を買受ける都市再生機構(U.R)側が
 5月、キャンパス北側住宅街、緑もある跡地は住居ゾーンとしての

思いが交錯する。思惑はあるだろうが、語り、跡地利用に街の跡地問題。まち協役員今こそ地元の発展に心を未来を託す。
 一人は「いろいろなを一つにすべきだ」と

【鈴木美穂】



六本松の歴史や自然について意見交換した「まちづくりコンセプト委員会」の初会合